

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	43人

1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム
使用学年及び人数	高等部1～3年生 43人
使用頻度	週1回程度
使用状況	主に、各学年での音楽の授業や部活動(総合文化部)で使用している。
物品の使用による変化や効果	既存のトーンチャイムでは、各学年が互いに譲り合って練習することが多くあったが、トーンチャイムのセット数を増やしたことで、多くの生徒が楽器に触れる機会を確保することができた。トーンチャイムのきれいな音色は、演奏者も聴く側も穏やかな気分になり、心が癒される効果が期待できる。音楽の授業で難曲にチャレンジして上手に演奏できた時には、生徒たちから達成感の笑顔が見られている。また、総合文化部では、今後、地域の交流会で発表をする機会があり、トーンチャイムの音色を多くの方々に届ける予定である。
今後の活用の見通しや課題	コロナ禍において、歌唱の制限があるため、楽器を使用した学習を充実させたいと考えている。トーンチャイムを寄贈していただいたことで、学年生徒全員が授業で楽器を手にして活動を行うことができるようになった。今後も全員で奏でるハーモニーを楽しみながら学習を行っていききたい。
その他希望や所感など	音楽の時間に楽器を演奏することや、部活動で音楽を通して地域の方々と交流することは、知的障害のある生徒にとって貴重な経験と考える。この経験が、今後の豊かな文化・芸術活動につながることを期待している。

2. 活用の様子

【トーンチャイム練習の様子】

